

患者さんと病院を「つなぐ」情報誌

ご自由に  
お持ちください

# つなぐ

TSUNAGU

O t s u C i t y H o s p i t a l

2025年

Vol.16

Headline

理事長・院長特別対談 《p.1,2》

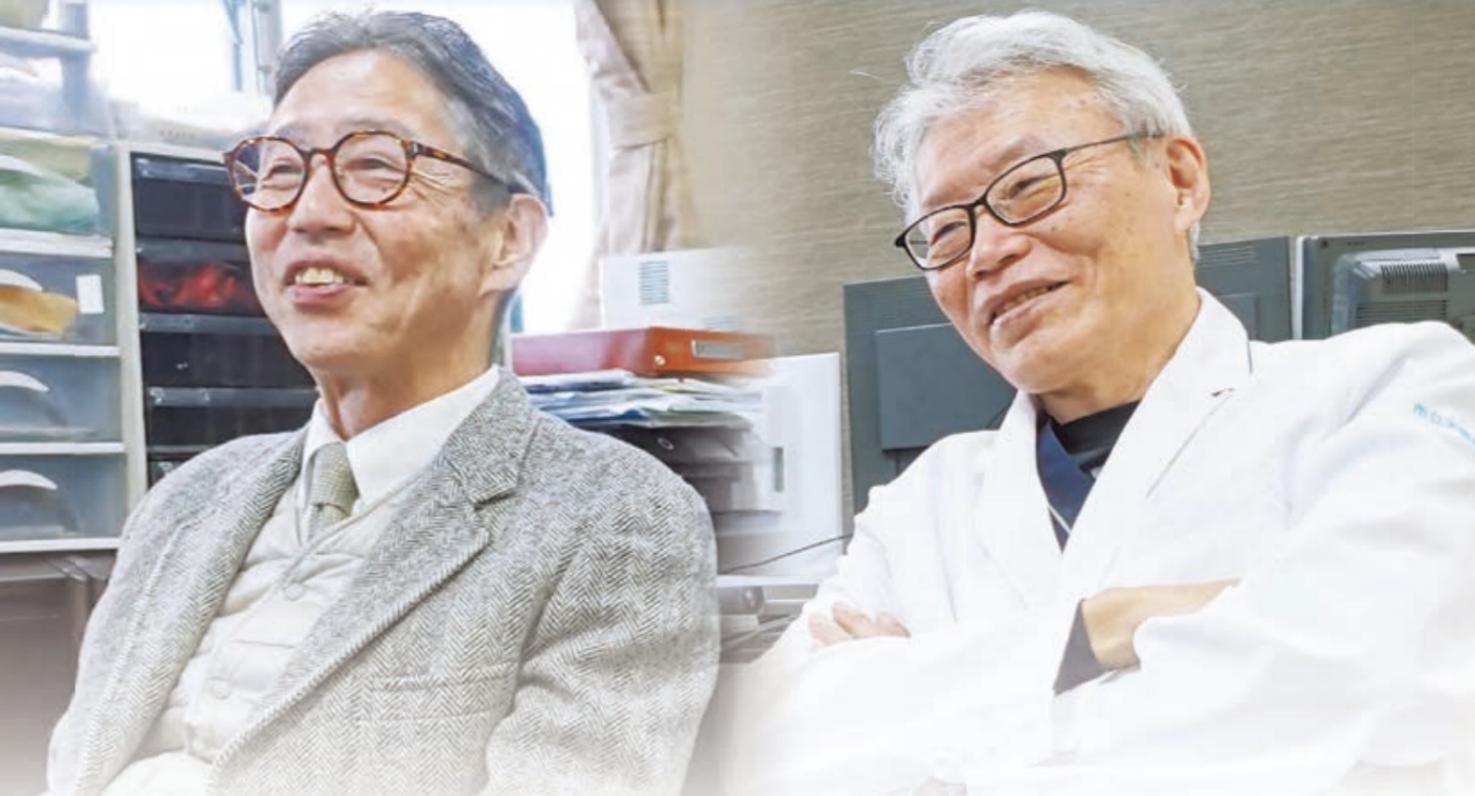
## Contents

- 1,2 理事長・院長特別対談  
～昨年の活動とこれからの病院について～
- 3 がんセンター・がん相談支援室を  
開設しました!
- 4 在宅診療センター開設から1年を  
迎えて
- 5 健康診断 “基本の「き」”  
～BMIと腹囲～
- 6 心をつなぐボランティアの力
- 7 市民公開講座のご紹介  
～知ることから始めよう～



# 昨年の活動とこれからの病院について

Interview



理事長 かわうち あきひろ  
**河内 明宏**

## 2022年10月 理事長就任

当院が抱える経営課題解決のため、経営責任者として日々多くの業務に取り組んでいる。医療の発展への貢献も大きく、2024年は全国の医師によって推薦される「ベストドクター」や、泌尿器内視鏡手術・低侵襲医療の発展に貢献した医師に贈られる「カールストルツ賞」を受賞している。

院長 ひの あきひろ  
**日野 明彦**

## 2022年4月 院長就任

就任当初から院長業務をこなしつつ、脳神経外科医師として多くの患者の診療や若手医師の指導を行っている。医療専門サイト「m3.com」が行った5000人調査「2024年地域医療キーパーソン」では、日野院長が滋賀県で1位となる。

## 本日はよろしくお願ひします。早速ですが、2024年度を振り返ってみて、お二人にとってどのような年になりましたか？ また、どんなことが記憶にのこっていますか？

**河内理事長**：4月に在宅診療センター、10月に地域包括医療病棟、11月にがんセンターなど、将来に向けて方向性を持った新しい部門がいくつか立ち上がりました。それら新部門の立ち上げでは、職員皆が協力しながら一生懸命やってくれている姿を見ていたので、とてもありがたく感じました。立ち上げに当たってのディスカッションでは関係職員が色々な意見を言いながら、前向きに業務に当たってくれました。その光景が非常に記憶に残っていますね。そういった経験があるからこそ、新しい取組みが上手くいっているのではないかなと思います。

**日野院長**：2024年は色々な組織ができあがったことが印象的な年でしたね。ただ、せっかく組織を作っても、じっと守っているだけではダメになってしまう。長きに渡って生きる組織にするため、どうやって有効的に運営していくかというところが今後の課題でもありますね。記憶に残っていることは…毎日色々ありすぎてね(笑)中には良いこともあったけど、何かと辛い1年であったように感じましたかね。コロナも2024年には終息したという雰囲気になつて、5年間のマスク生活が終わったなと感じましたね。



**9月にはガイアの夜明けで当院が再度特集されましたが、反響を感じることはありましたか。**

**日野院長**：1回目ほどの強烈なインパクトはなかったかもしれませんが、よくまとまっていたと思うし、僕自身も安心して観てられたかな。1回目の時はハラハラドキドキでしたけどね(笑)

**河内理事長**：今回は周囲からの反響がよく、いろんな人から声をかけていただきました。いろんな職員が登場してよかったというようなことを言っていただきました。

**お二人は診療もしながら理事長職・院長職をこなしており、とても大変かと思ひます。何をモチベーションに日々頑張っておられるのですか。**

**河内理事長**：職員みんなの活気と病院の業績向上がモチベーションとなりますね。

**日野院長**：自分でもなんでこんな一生懸命になっているかわからないけど…。(笑)何も予定がなくて病院へ行かずに家に居ると自分がダメになる気がするんです。



**なるほど。なかなか休みも取れないかもしれませんが、休日は何をしてリフレッシュしていますか。**

**河内理事長**：休日はゴルフをしてリフレッシュしていますね。

**日野院長**：僕は自転車なんですけど、今は膝を痛めているので膝が良くなって暖かくなつたらまた始めたいと思っています。

**新しい年度が始まりました。お二人は、2025年度はどのような年にしていきたいですか？**

**河内理事長**：職員のモチベーションが上がると業績も上がると思うので、職員のモチベーションをあげていけるように全力でサポートしていきたいと思っています。業務改善委員会も新たに立ち上がっているので、業績を改善するだけでなく、職員の働き方を改善したり患者さんの感じ方を改善したりと色々な事が含まれているのですが、それらを含めて業務全体を改善していければと思っています。1年頑張ったら再来年度には良い兆しが見えてくるので、この1年は辛抱の年かも知れませんね。

**日野院長**：どんな年かね…。目の前のやることをやるしかないかな。忙しいと文句を言うけど、文句を言いながら仕事をしているのが自分の性にあっていると思うしね。

**ありがとうございました。2025年度も、河内理事長・日野院長を筆頭に市立大津市民病院をさらに盛り上げていきたいと思ひます！**



## がんセンター・がん相談支援室を開設しました!

### がんセンターの紹介

がんのすべての時期において、適切な診療・相談ができるセンターです。

<p><b>がんを 予防するために</b></p> <p><b>予防</b></p> <p>禁煙外来 HPVワクチン (子宮頸がんワクチン) 市民公開講座</p>	<p><b>がんを早く 発見するために</b></p> <p><b>健診</b></p> <p>人間ドック 乳がん検診 (日曜あり) ブチ健診</p>	<p><b>より良く 生きるために</b></p> <p><b>緩和 ケア</b></p> <p>緩和ケア病棟 緩和ケアチーム 緩和ケア外来</p>	<p><b>がんを正確に 診断するために</b></p> <p><b>診断</b></p> <p>画像診断 組織診断 血液検査 遺伝子検査</p>	<p><b>がんを適切に 治療するために</b></p> <p><b>治療</b></p> <p>Express 外来 ロボット手術 化学療法 放射線治療</p>	<p><b>がんと共に 生きるために</b></p> <p><b>療養</b></p> <p>地域連携 在宅療養 訪問看護ステーション 訪問リハビリ</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------

市立大津市民病院では、“予防から緩和ケアまでがんに強い病院”という方針のもと、一人ひとりに適切ながん治療の提供や療養支援・相談ができるよう、本館5階にがんセンターを開設しております。



### がん相談支援室ご紹介

がん相談支援室では、専門の看護師が、がんの治療、緩和ケアのサポート、療養生活、不安なお気持ちなどのご相談に対応しています。各専門職と連携して解決の糸口を一緒に考え、お気持ちの整理のお手伝いをさせていただきます。

また、地域のがん患者さん、ご家族の情報交換や交流の場として、がん患者サロン“なごみ”(毎月第3火曜日13-15時:予約不要)の開催や、がんの治療・療養生活に関する情報コーナー、アピランスケア(外見ケア)のグッズ展示なども用意しております。

患者さんやご家族、当院を受診していない方、地域の方、医療福祉保健従事者の方もご利用いただけますので、お気軽にお越し下さい。

### がんセンターのご利用について

平日月曜日～金曜日9:00～16:00(土・日・祝日・年末年始を除く)  
がんセンターの場所は、本館5階にございます。  
お問い合わせは077-522-4607(病院代表)までご連絡ください。



## 在宅診療センター開設から1年を迎えて

### 在宅診療センター

在宅診療センターでは、医師・看護師・コメディカルなど多職種が連携し、通院が困難な患者さんの日常生活を支える在宅医療(訪問診療・訪問リハビリテーション・訪問看護)を行っています。

令和6年4月の開設からの実績は、訪問診療部門では100回、訪問リハビリテーション部門では201回の訪問に繋げることができました。

また、訪問看護ステーションでは365日24時間対応で利用者・ご家族に寄り添う看護を提供してきました。

診療部門では総合的な内科診療に加え、皮膚科や泌尿器科、歯科による専門的な診療も行っていますので、褥瘡処置や尿管留置カテーテル交換などの医療的管理・処置にもお応えすることができます。

### 新しい医療機器を購入し体制も充実しました

ポータブル超音波診断装置(フィリップス社製・Lumify)を今年度購入し、訪問診療の際に使用することでリアルタイムな診断により迅速な治療や症状説明が可能となりました。

定期的な訪問以外では、数件の実績ですが急な症状悪化による緊急訪問や看取りも行い、患者さんに寄り添う診療に繋げることができました。



### 訪問診療・訪問看護・訪問リハビリはぜひ当院をご利用ください

在宅診療センターでは、今後も定期的な訪問診療により必要な処方・処置・検査などを行い、患者さんの治療に努めてまいります。

訪問看護・訪問リハビリでは、ご自宅で療養されている方に安心して日常生活を過ごしていただけるよう主治医と連携し、療養のお手伝いをさせていただきます。

入院中の患者さんの退院後や通院中の患者さんで在宅医療が必要な方がいらっしゃいましたら在宅診療センターへご紹介ください。

訪問エリアは病院から片道20分以内(16km圏内)ですが、詳細については在宅診療センターまでお問い合わせください。

電話番号 ● 077-526-5099

受付時間 ● 8:30～17:15



水流医長 (泌尿器科) 高見センター長 (消化器内科) 大町医師 (総合内科) 貫野部長 (皮膚科)



◀訪問看護ステーション、訪問リハビリテーション部のスタッフ

# 健康診断「基本の「き」」 ～BMIと腹囲～

人間ドックや健康診断を受診された後、みなさんにご自身の結果を確認していますか?「受けっぱなし」になっている方も多いのではないのでしょうか。

たくさんの数値がありますが、今回はほとんどの方が計測されている「身長・体重」及び「腹囲」からわかることをご紹介します。

まず、身長と体重からわかることとして「BMI(ボディ・マス・インデックス)」とBMIの数値に基づいた「BMI判定」というものがあります。BMIの算出方法とBMI判定の基準は右記の通りです。

また、BMIに加え、「腹囲」の数値も内臓脂肪の蓄積リスクの目安になります。「腹囲」はおへその高さで計測したお腹周りのことを指していますので、最もくびれている部分の数値ではありません。「腹囲」の判定は下記のとおり、男性と女性で異なります。

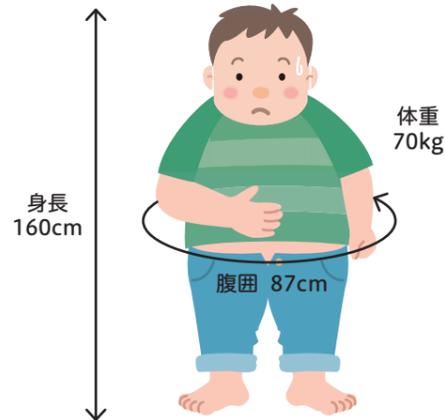
## ●腹囲判定(メタボリック疑いあり)

男性 85cm以上、女性 90cm以上

$$\text{BMI} = \text{体重(kg)} \div (\text{身長(m)} \times \text{身長(m)})$$

BMI判定	
18.5 未満	やせ
18.5 以上25未満	普通体重
25以上30 未満	肥満(1度)
30以上35 未満	肥満(2度)
35以上40 未満	肥満(3度)
40以上	肥満(4度)

### Aさん(男性)の場合



### 【例えば】

Aさん(男性)が身長160cm  
体重70kg、腹囲87cmの場合

BMIは「70kg÷(1.6m×1.6m)」で27.4となり、BMI判定は肥満(1度)となります。さらに腹囲が85cm以上あることから、「メタボリック疑いあり」に該当しますので、生活習慣の改善が必要な状態であることがわかります。

…あなたの今回のBMIや腹囲は大丈夫でしたか?

### 当院では健康診断当日の特定保健指導を行っています

特定保健指導とは、腹囲やBMIだけでなく、健康診断の際の血液検査や血圧、喫煙の結果からメタボリックシンドロームのリスク数に応じて判定を行い、対象となった方に食事や運動の健康支援を行うものです。

特定保健指導対象外の方でも、人間ドックや健康診断のオプションとして「栄養指導※」をお申し込みいただけます。

※健康診断の料金に加え、別途、3,300円(税込)が必要になります。

※当日お申し込みの場合、混み具合によっては承れないことや、待ち時間が発生することをご了承ください。



心をつなぐ  
ボランティア  
の  
ちから  
カ



市立大津市民病院では、外来の患者さんをサポートするボランティアさんがいます。皆様の温かいサポートで患者様やご家族を支えています。



問診票の書き方を  
アドバイスします



行き先が分からない時は  
一緒にご案内します

～この他、被服の縫製をしたり  
園芸を通じて病院の美化に取り組んでいます～



ボランティアさんに質問



ボランティアを始めたきっかけは?



病院の近くに住んでいて、家族や知り合いもお世話になっています。そんな身近な病院の役に立ちたいと思いボランティアに応募しました。

あなたの優しさを必要とする方が病院にはおられます。  
皆さまからのご連絡をお待ちしております。

問合せ TEL: 077-522-4607(代表)

## 市民公開講座のご紹介

## ～知ることから始めよう～ 乳がんのお話



皆さま真剣に聴いておられました

当院では、身近な健康や気になる病気について、皆さまに知識を深めてもらい、予防や治療に向き合っていたりため、市民公開講座を定期的に開催しております。

新しい年を迎えて最初の講座は「乳がん」をテーマに、ガイアの夜明けでも取材を受けた乳腺外科診療部長の川口佳奈子が講演いたしました。川口医師は子育て真っ只中で、仕事や家事に奮闘中であり、同じように仕事や家事に頑張っておられる皆さまに情報を届けたいとの思いで講演されました。

講演では、情報あふれる社会の中で、専門の医師として治療の指針に基づく正しい予防法や治療などを取り上げられ、受講者からは「ネットの情報は信用しません」「自己触診をまずはやってみたい」「高齢なのでがん検診は必要ないと思っていましたが行くことにします」と感想をいただきました。

また、今回の公開講座では、会場に来ることができない方にもご視聴いただけるよう、Instagramでのライブ配信も行い、多くの方にご視聴いただくことができました。これからも、市民の皆さまに幅広く当院が行う信頼ある医療の情報が届くよう、情報発信に取り組んでまいります。



触診は思ったより難しそう

## 西山順三先生の写真展を開催しました

2月17日から2月28日の間、大津市皇子が丘で開業されている西山医院の理事・西山順三先生の写真展を開催しました。西山先生は、滋賀県写真家協会会員として活動しておられ、コンクールで受賞されるなど精力的に活動しておられます。



写真展では「大津の四季」をテーマに、春夏秋冬様々な景色に彩られた大津市内の名所を撮られた作品が数多く展示されました。写真展の会場となった本館1階ロビーには、たくさんの患者さん・ご家族さんが西山先生の作品を鑑賞しておられました。

## 地方独立行政法人 市立大津市民病院 ご寄附のお願い



当院では、個人さまや法人・団体さまなどからのご寄附を受け付けております。

みなさまからのご寄附は、医療機器の整備、療養環境の改善に活用させていただきます。

また、当院へのご寄附は、税制上の優遇措置が受けられます。詳しくは下記問い合わせ先または二次元バーコードを確認ください。みなさまのご協力をよろしくお願いします。

問い合わせ先 地方独立行政法人市立大津市民病院 事務局 総務課 財務係 ☎077-522-4607(代) ✉ och1010@och.or.jp

